

(3) 「最終処分場の廃止に向けた安定度判定に関する研究」(継続課題)

[総合評価とコメント]

各地で問題化している処分場についての重要なデータが期待されます。神奈川県独自のデータが、いずれは何らかの形で公表されるようになることを期待しております。

最終処分場の安定を評価・判断するには、それなりの時間が必要であり、本研究の設定期間では難しい面もあると考えます。

しかし、長期的なデータを蓄積することに加え、何を、どのように測定・監視すべきかを考えることは非常に重要なことであり、この研究の成果を期待しています。

埋立地浸出水のモニタリングを中心とした研究であり、基礎的であるが重要な研究である。

単にモニタリング結果のみが成果ということではなく、安定度判定の基準を作れるよう、評価方法の確立も視野に入れて、研究を進めて欲しい。

重要な研究である。データ蓄積に努めていただきたい。

できるだけ多くの場での情報を取り入れて進めて欲しいとともに、成果の情報発信を進めて欲しい。

何をポイントにしたいか(項目やその項目のどういう挙動かなど)が、もう一つ伝わってこない。

行政体ならではの研究と言える。処分場への住民の信頼を得るためにも確立すべき検証方法と言える。

指標として挙げられている項目とそれ以外の有害化学物質排出との関連を、限られた例においても併せて検証する必要もあろう。

(数値的評価)

評価者 6 名

< 評価の内容 >	< 評価項目 >	< ランク >				
計画の立案と実施 法	研究内容	1 (5 人)	2 (1 人)	3 (0 人)	4 (0 人)	5 (0 人)
	計画の妥当性	1 (3 人)	2 (3 人)	3 (0 人)	4 (0 人)	5 (0 人)

凡例 1:よい 2:概ねよい 3: 問題点あり 4: 全面的見直し必要 5: わからない